

第1学年1組男子 保健体育科学習指導案

指導者 末角 賢

1 題 材 球技「ネット型（バレーボール）」

2 題材について

- (1) 球技は、ボールなどを使って個人対個人やチーム対チームでの試合の攻防を通しながら、多くの運動技能を身に付けることができるスポーツである。また、互いに協力して練習や試合を行うことで、勝敗に対する公正な態度を身に付けたり、課題を解決するためにグループ内で話し合ったりすることで、工夫しながら学ぼうとする能力の高まりが期待できる題材と考えられる。バレーボールは、個人技能や集団技能を発揮しながら攻防をくり返し、得点や勝敗を競い合うところ楽しさを感じるスポーツである。練習を通してジャンプ力や敏しょう性などの体力を高めることができる。また、ネットを挟んで攻防するため、相手に邪魔されることなく攻撃や守備ができることから、個人の目標やチームの目標を設定しやすく、ボールが落ちる度に動きが止まるので、振り返りがしやすい。ただし、ボールを扱う個人技能が非常に難しいため、基礎技能が習得できていない段階で試合を行うと、ボールがつながらず、楽しさを味わうことができない。そこで、体育の授業では、技能に応じて試合が楽しめるように、場の設定を工夫する必要がある。
- (2) 本学級は、男子16名で編成されている。運動に積極的な生徒がいる反面、運動を苦手として意欲が前面に出てこない生徒もいる。ただ、「球技は好き」と答える生徒は90%を超えており、楽しみにしている生徒が多い実態を踏まえ、基本技術の向上を目標としつつ、ボールに積極的に触れられる場の設定と積極的に活動できる生徒の育成を最終目標に授業を展開していきたい。
- (3) 教材の特性や生徒の様子から「みんなが楽しいと言える体育の授業」というテーマを掲げ、まずは生徒同士のコミュニケーションを大切にしながら授業を展開する必要があると思われる。初めてバレーボールに触れる生徒もいれば、小学生の時に少年団で少し触れていた生徒もおり、個人差が大きいので、場の設定の工夫として習熟度別（A・B）で行い、それぞれのルールを考えさせたい。そのために、「試合－練習－試合」の展開を繰り返す、チームでの活動の時間を多く設定したい。また、ルールを考える中でボールをつなぐためにできることを話し合い、一人ひとりが活動に参加しているという意識を持たせたい。このことが、生徒の思考力・判断力も高めさせ、よりよい人間形成に役立つものと考えられる。

3 目 標

- (1) 安全に注意し、けがなく積極的に活動や話し合いに参加することができる。（A・B）
- (2) 習得した個人技能を使って、チームで協力し相手コートに返すことができる。（A）
習得した個人技能を使って、積極的にボールに触れようとするすることができる。（B）

4 学習指導計画（12時間）

- (1) オリエンテーション・チーム分け・チームミーティング…………… 1時間
- (2) 基本技能（パス・サービスなど）や試合の方法の確認。…………… 3時間
- (3) 試しの試合・チーム練習・試合…………… 4時間（本時1／4）
- (4) 試合…………… 2時間

5 本時の学習指導

(1) 目標

- ① チームで声をかけあい、協力して活動や話し合いに参加することができる。(A・B)
- ② 習得した個人技能を使って、チームで協力し相手コートに返すことができる。(A)
習得した個人技能を使って、積極的にボールに触れようとするすることができる。(B)

(2) 準備物 ネット、バレーボール、ソフトバレーボール、タブレット

(3) 学習指導過程

学習活動と学習内容	教師の支援活動	評価
1 用具の点検や安全点検をする。 2 集合、整列、挨拶をする。 3 本時の学習内容、学習課題を決定する。	○役割分担や協力を促す。 ○中学校体育実技を活用させ、各自の課題が適切であるか確認させる。	
個人技能を使って、ボールをつなごう。		
4 チームに分かれて準備運動をする。 5 基本のドリル練習をする。 (1)直上アンダーハンドパス (2)直上オーバーハンドパス (3)アンダーハンドパス (4)オーバーハンドパス 6 習熟度に分かれて練習をする。 (1)チームミーティング (2)試しのゲーム (3)チームミーティング (4)試しのゲーム 7 本時の反省と次時の課題設定をする。 8 整理運動をする。 9 用具の片付けをする。 10 集合、整列、挨拶をする。	○補助運動になるような動きを取り入れる。特に指や手首、膝関節のストレッチを入念にするように助言する。 ○体勢を崩し、正確にできない場合はキャッチをしてから行うように助言する。 ○A タブレットを活用させ、客観的に自分の姿を見ることにより、膝の曲げ伸ばしやボールの当たり具合、試合の流れを確認させる手立てとする。 ○B ソフトバレーボールを使うことで恐怖心とスピードを抑えたゲームをやらせる。 ○各自の課題が適切であるかチーム内で話し合わせ、互いにアドバイスをさせる。 ○使った部位を十分にほぐすように助言する。	【関心・意欲・態度】 【思考・判断】 A 実技の本の活用やチーム内での助言を参考にして、自己の能力に応じた試合ができている。 B 実技の本の活用やチーム内での助言を参考に挑戦し、試合をすることができている。 C 実技の本の活用やチーム内での助言を参考にしても、試合をすることができない。
[行動観察]		